

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 北村
山行番. 個人山行	
日時 2023年08月03日(木)～08月05日(土)	
山域 南アルプス 南部	
コース 8/3(木) 榎島ロッジ(8:29)-千枚小屋 宿泊地(14:48) 8/4(金) 千枚小屋(5:08)-千枚岳 2880m(5:46)-悪沢岳 3140m(7:40)-荒川中岳 3183m(9:29)-荒川前岳 3068m(9:41)-荒川小屋(10:53)-小赤石岳 3081m(12:57)-赤石岳 3120m(13:32)-赤石小屋 テント場(16:23) 8/5(土) 赤石小屋(4:34)-富士見平(4:55)-赤石小屋(6:39～8:14)-榎島ロッジ(11:27)	
標高差 上り・下り 3378m	
難易度 非常に困難 困難 レやや困難 普通 やや易しい 易しい	
大自然とお花畑満喫の縦走	
参加者 北村(一人)	

昨年の夏に購入した登山雑誌(山と溪谷)の特集は「巨大山塊 南アルプス」。主たる山々が紹介される中、“ダイナミックな展望と南ア最大級のお花畑”と紹介されていたのは、荒川三山～赤石岳。ずっと行きたかった念願の山域を2泊3日で縦走してきた。

Gさんが見せてくれた過去の山行報告書、Kさんから教えていただいたコースを参考に榎島から反時計回りに縦走する周回ルートに決めた。

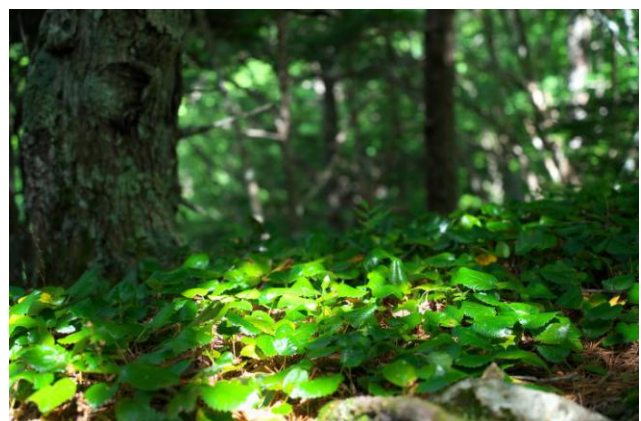
■一日目 8/3(木) 天候: 晴れ～夕方強い雨～夜は晴れ

AM6時に自家用車で畑薙ダム臨時駐車場に到着、7時15分発の榎島ロッジ行 登山者送迎バスに乗車した。バスの乗車は山小屋宿泊が条件、何とか予約できた平日の千枚小屋とセットでバスに乗れた。バスは三分の一くらいは空席、途中で一時停止して運転手さんが「左に赤石岳が見えています」と教えてくれた。嬉しいサービスである。

榎島でストレッチをして登山開始。テント泊装備もあってザックは21kgでのスタート、しばらくは背中寄りの重心に身体を慣らしながら歩いた。千枚小屋までの登山道は眺望の変化が少なく単調だったが、登山者の少ない静かな森はとても心地く感じた。



出発前 榎島ロッジにて



登山道にて イワカガミの葉っぱ

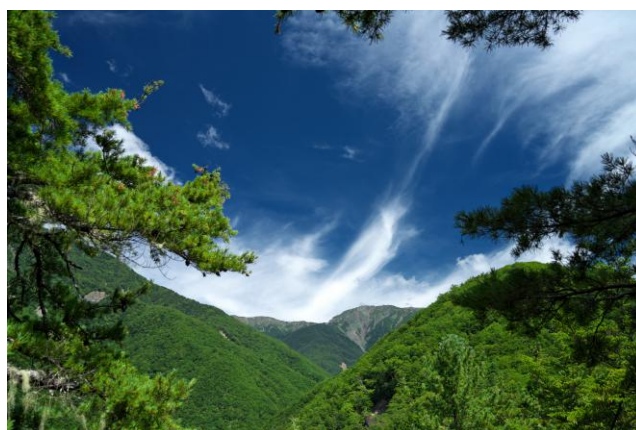
途中、荒川岳～赤石岳が見渡せる「見晴らし所」で昼食を取った。明日、この稜線を歩けると思うとワクワクした。後半は足に疲れが出始めたが、すれ違いの人の「お花最高ですよ～」の声掛けに元気をもらいながら、千枚小屋には予定通り 15 時前に到着した。

夕飯は 17 時、穏やかな天気の中、外でゆっくりしていたら、雷が鳴り始めバケツを返したような夕立になった。予報も夕方雨マークだった、計画通りの行動で濡れずに済んだ。

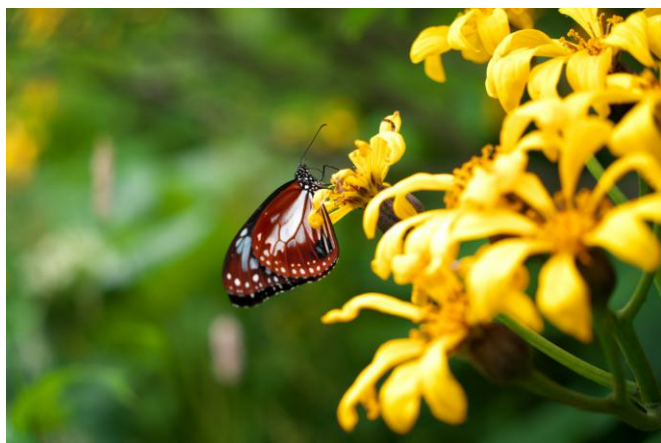
山小屋では、偶然 YAMAP で交流している人に出て話が弾んだり、隣の寝床の人と山の雑談をしたりと楽しい時間を過ごした。夜になり少し星が見えてきた。消灯は 20 時、朝の景色に期待して目をつぶったら、すぐに寝落ちした。



見晴らし所にて
奥に見える山は赤石岳



赤石岳が見えた!



千枚小屋にて アサギマダラ



雷の後に激しい雨

■二日目 8/4(金) 天候：快晴～曇り～夕方に小雨～曇り

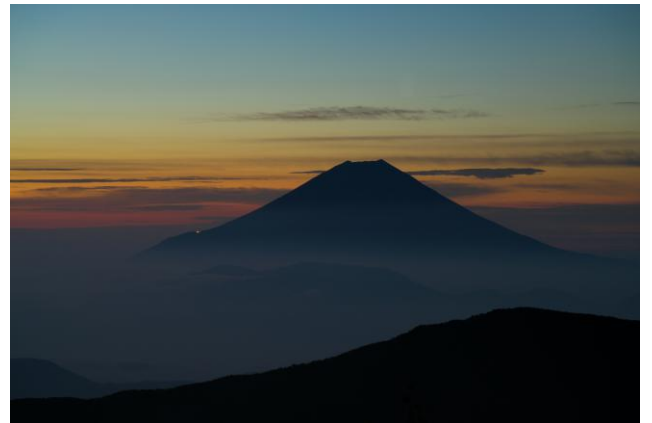
熟睡してすっきり目覚めた時刻は午前3時。音をたてないように注意して外に出てみると、満点の星空にくっきりと富士山のシルエットが見えた。就寝前に準備しておいた三脚とカメラを持ち出して、星空～日の出まで、趣味の写真撮影を楽しんだ。



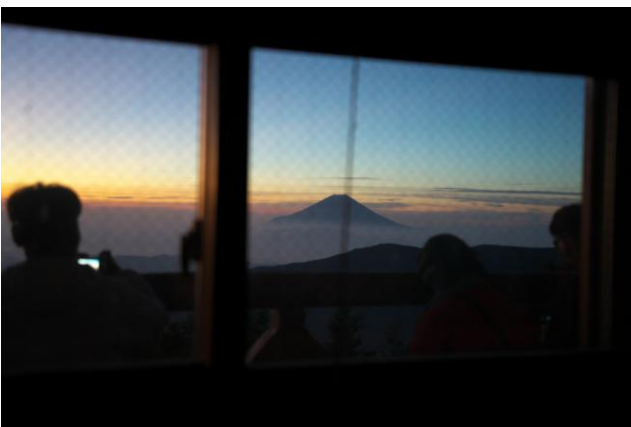
富士山とオリオン座、おうし座(am3:18)



マジックアワー(am4:08)



富士山（望遠）



ご来光を待つ登山者達(部屋の窓から)



ご来光(am4:54)

二日目も夕方は雨の予報だったので、早朝に登山をスタートした。振り返ると富士山、少し歩くと赤石岳が見えた。森林限界に出て早々にタカネビランジを見つけた。Gさんから聞いていた通りの可憐な花だった。千枚岳に到着。どこにも人工物が見えない大自然の景色に引き込まれた。



お世話になった千枚小屋を出発 (am5:08)



赤石岳と小赤石岳くっきり



タカネビランジ見つけた！



絶景一人占め



千枚岳山頂に到着 標高 2880m

千枚岳から先は、すれ違いの方が教えてくれた通りの花園だった。中でも、ゴージャスなマツムシソウ、白と薄ピンクのタカネビランジは目を惹いた。興奮して転倒しないよう気を引き締めつつ、花園歩きを楽しんだ。しばらく歩くと登山道をライチョウ親子が降りて来た。おどかさないうそと写真撮影、子供が3羽並んだ姿が可愛らしかった。

悪沢岳が近づくと、大きな岩がゴロゴロした荒地になった。方向指示マークを見落とすと、危ない方角(ガケ)に行ってしまう。注意して慎重に進み悪沢岳に到着した。

山頂からは塩見岳、中央アルプスが良く見えた。千枚小屋から同じペースで歩いてきた登山者が到着してお互いに写真を撮り合った。二日目のすれ違いは、ここまで僅か1組、本当に静かで気持ち良い。この山は人が増えないことを願いたい。



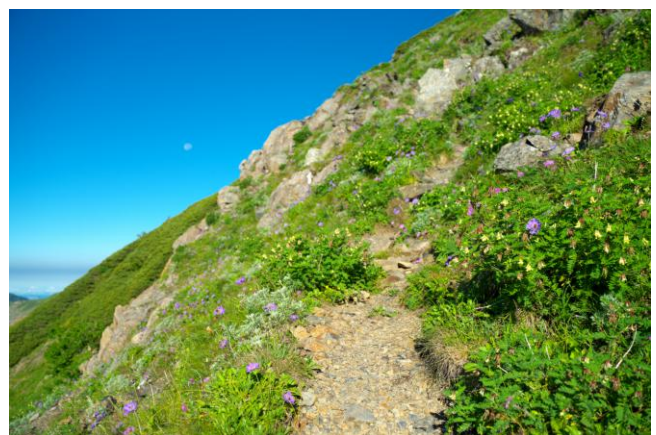
マツムシソウの青が鮮やか



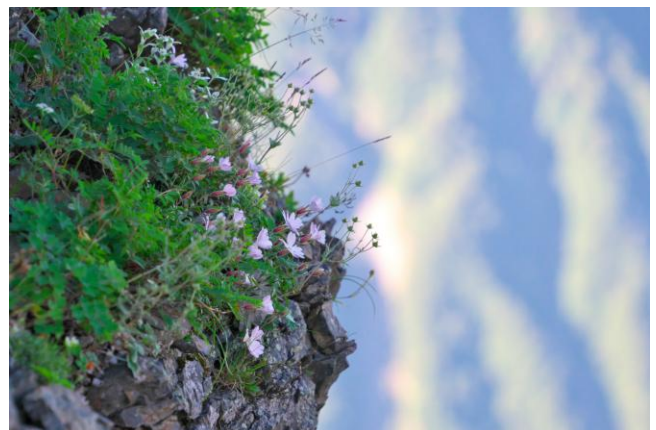
白と薄ピンクのタカネビランジ



大きな岩の後方は赤石岳



花の登山道



垂直の岩壁にもたくさんの花



ライチョウの子供達 可愛い



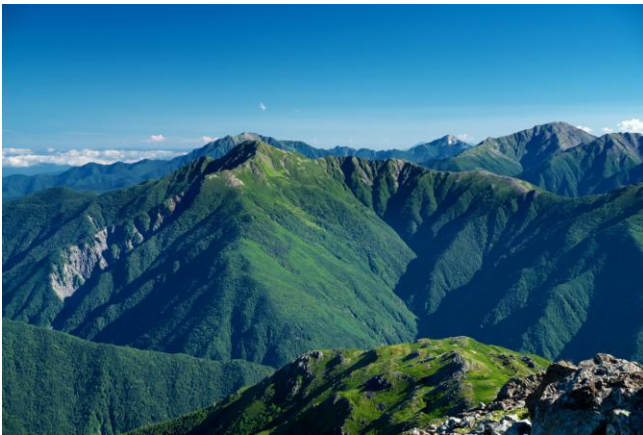
丸山 標高 3032m



悪沢岳 (荒川東岳) 山頂手前

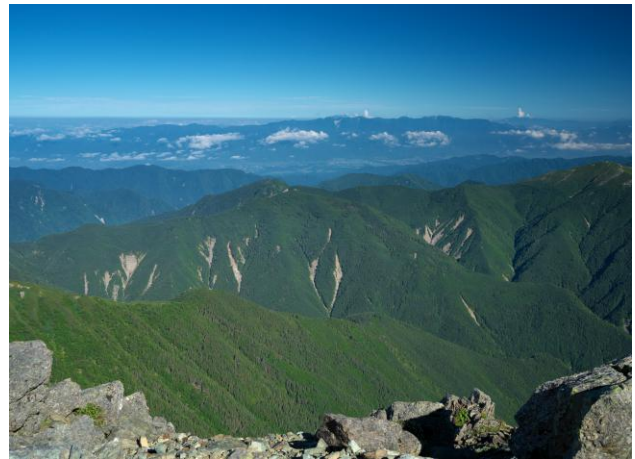


悪沢岳に到着 3141m (標高第六位)



塩見岳と南アルプスの山々

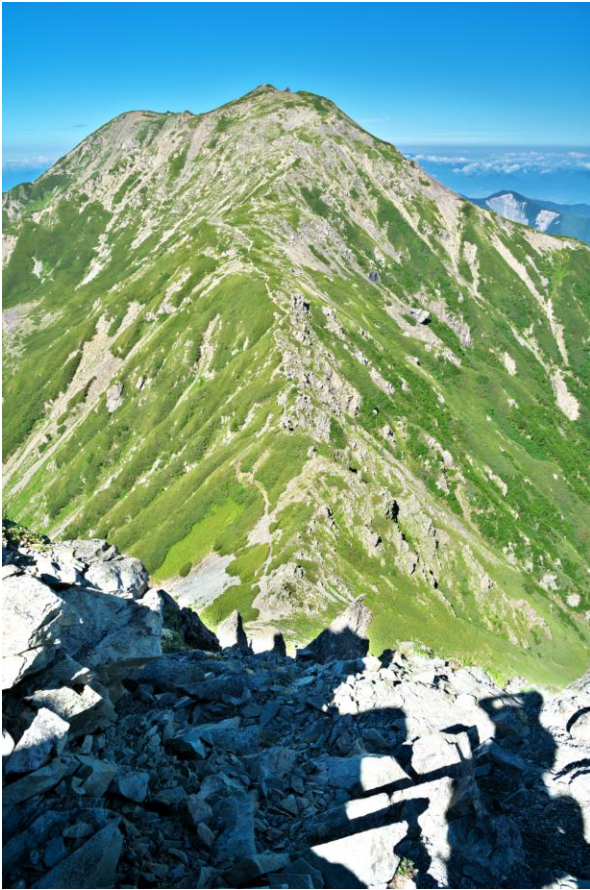
後方は仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、間ノ岳



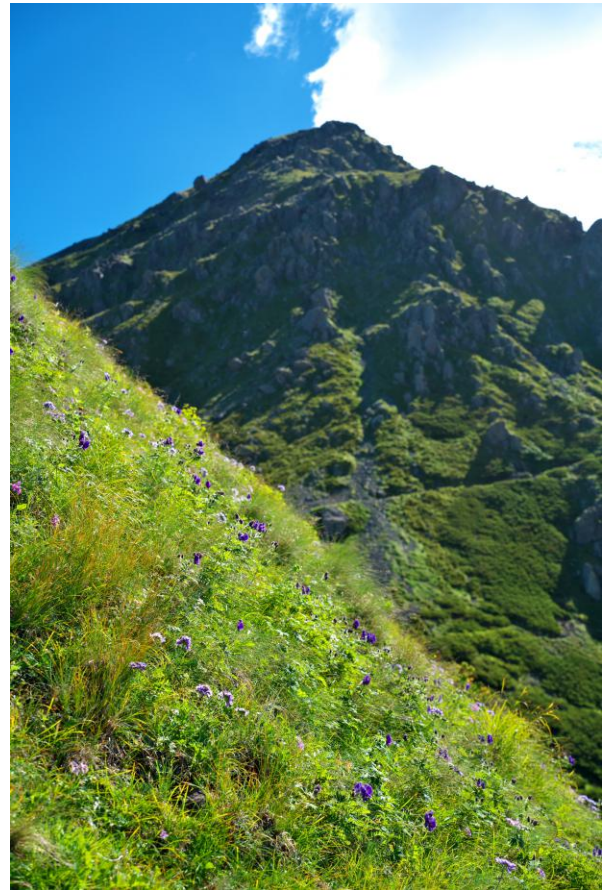
中央アルプスの後に御嶽山が見える

悪沢岳からコルへの下りは急斜面のガレた道。転倒はもちろん、小石一つこぼさないよう一歩ずつ神経を使って下った。無事通過して振り返ると、トリカブトの群生と悪沢岳が並んでいた。見た目は綺麗だが毒と悪・・・クセある組み合わせだ(笑)

荒川中岳、荒川前岳を通過、広いお花畑を通過して荒川小屋に到着し昼食にした。荒川小屋では旅の記念に「悪沢岳」Tシャツを購入、登山で使えるポリエステル100%で2,500円はリーズナブル、次回の南アルプス山行で着ようか。



悪沢岳からコルへの急峻な下り坂
下が見えない、一歩ずつ慎重に下った。



トリカブトと悪沢岳
下った斜面は下から見ても急だった。



気分爽快 花園ロード(坂の上に薄っすら荒川避難小屋が見える)



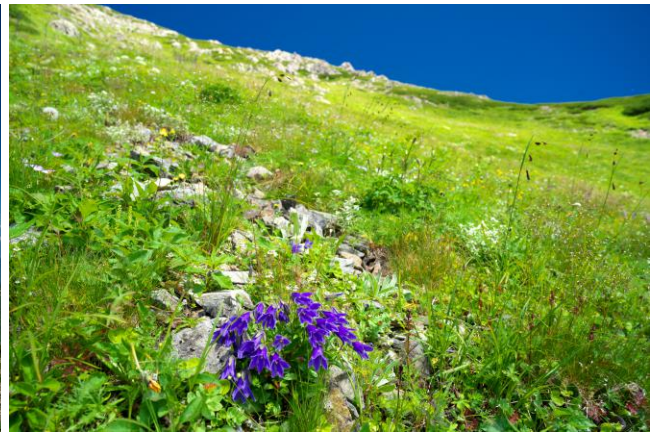
塩見岳方面 なだらかな地形も美しい



荒川中岳 標高 3083m
後方に見えるのは小赤石岳



荒川前岳 標高 3068m



広々したお花畑を通過



小赤石岳・赤石岳の大きな山体と荒川小屋(右下)

荒川小屋から先の明るく開放的な登山道は最高だった。その先、岩峰の急登からはガスの切れ間に聖岳も見えた。予約が取れず行けなかった聖岳、来年は行きたい。小赤石の肩(3030m)あたりからは、ガスで視界がわるくなったが雨には降られずに済んだ。

稜線で千枚小屋で隣だったソロの男性とすれ違う。天候を考慮してルートを短縮(聖岳を中止)、今日は自分と同じ赤石小屋のテン泊と聞き、テン場で合流して一緒に食事(自炊)することにした。計画最後の登頂となる赤石岳もガスがかかっていたが、雲が割れてわずかな時間 稜線が見える景色も高山らしい素敵な眺めだった。沢で夕飯の水を汲みながら赤石小屋に下山した。

一緒に夕飯した男性は百名山完登を目指し残り5山になったとの事。景色や写真を楽しむ自分とは目的が異なるが、山が好きは所は一緒、会話が弾んだ。午後8時、この日もテントで目をつぶったら直ぐに寝落ちした。



開放的で広々した登山道を進む



斜面の先に聖岳と兎岳が見えた



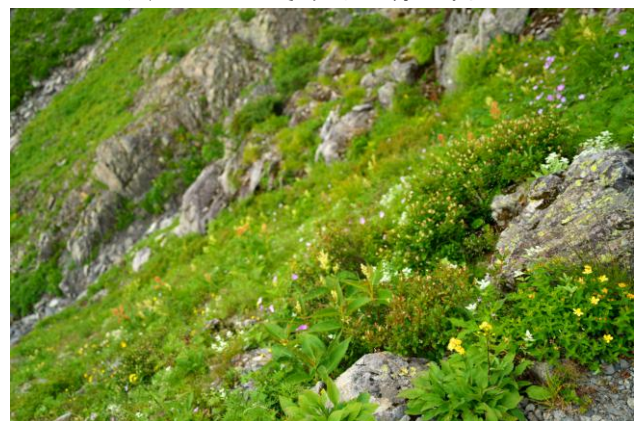
青空を見ると元気が出る



雲に包まれそうな小赤石岳



赤石岳登頂 3120m



赤石小屋への下りも花がたくさん

■三日目 8/5(土) 天候:晴れ

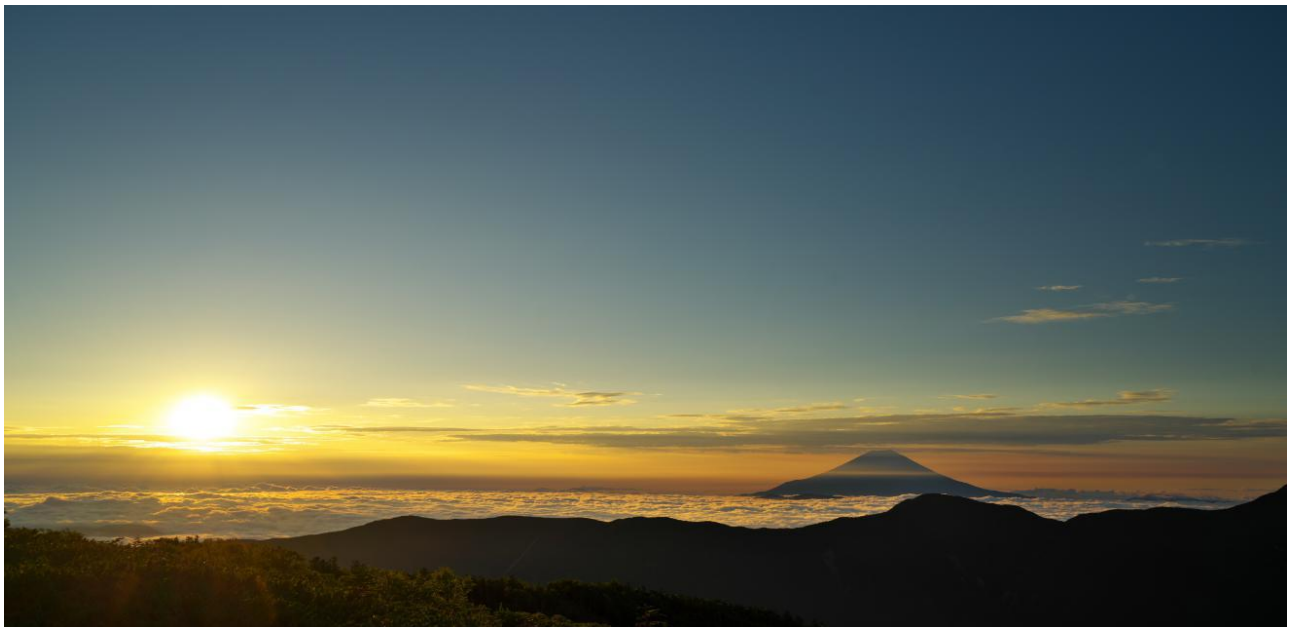
目が覚めて外を見たら、お月様くっきり、足の疲れも取れていたのので、飛び起きてカメラと必須登山装備だけアタックザックに詰めて、眺望の良い富士見平に向かった。

到着して目に飛び込んできた景色は雲海に浮かぶ富士山。前日歩いた千枚岳～荒川三山～赤石岳もくっきり。日が昇り雲海がオレンジ色に染まると言葉にならない絶景に。すばらしい朝だった。しばし、朝の景色を楽しみ、小屋に戻ってゆっくり朝食、テントを畳んで名残惜しいが下山した。最後は足に疲労が蓄積したのか膝の踏ん張りが利かず失速したが、計画時刻には下山できた。装備の軽量化は今後の課題と認識した。

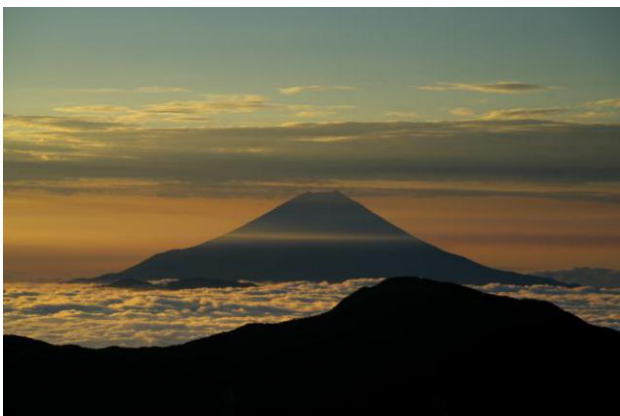
三日間トラブル無く、すべて計画通りに感動続きの山行を終える事ができた。良い山旅だった。



赤石岳 am5:02



ゴールドに染まった雲海 am5:05



富士山(望遠)



悪沢岳をバックに悪沢Tシャツでスナップ

参考 ルート地図 fujisann3776m のブログ

